

令和3年度 学校自己評価シート（山口学院 霞ヶ関高等学校）

目指す学校像 (ミッション)	自由の意味を理解しながら、自ら行動し心身ともに成長できる教育環境を提供する。
-------------------	--

本年度の 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業や学校行事の工夫と改善に努め、生徒が生き生きと取り組めるように心掛ける。(授業・行事の工夫と改善)</li> <li>2. 挨拶や礼儀をはじめとする基本的な生活習慣の育成に努める。(生活習慣の改善と定着)</li> <li>3. 進路に対しての考えを深めさせ、希望進路実現に向けた積極的な行動を促す。(進路指導の充実)</li> <li>4. 校内環境を整える。環境が人間の成長に重要な事を理解させながら、物事を広く深い視野で洞察できる人格の育成に努める。十分なウイルス対策を講じる(校内環境の整備)</li> </ol>
--------------	---

番号	評価項目	年度当初			最終評価(3月)			学校関係者評価
		現状	具体的方策	評価指標	経過・達成状況	達成度	次年度の課題と改善策	
1	授業・行事の工夫と改善	<p>平常時でも動画を配信する準備を進めていきたい。動画配信については、授業と動画配信の良好なバランスを考えていきたい。次年度はアクティブラーニング等を通じて、「分かる授業から自らの学びを誘発させる授業」への取り組みに努めたい。</p>	<p>・教師の授業力向上に努める。そのうえで動画やライブ授業配信、アクティブラーニングの技術向上を図り生徒が前向きに学びと向き合える環境を整える。・一般コースにおいては今年度メディア課題をDVDレンタル視聴からQRコードを用いて教員自らの動画作成しレポート提出を生徒に行わせる。</p>	<p>・学校アンケートなどで、授業に対する参加意欲が向上したかを確認する。</p>	<p>QRコードを用いてのメディア視聴方式はスムーズな実施が出来た。学校アンケートでは8割以上の生徒が、本校の授業は工夫された分かりやすい授業だと回答していた。しかし、アクティブラーニングの工夫と研究および実践については、まだまだ教科・科目にばらつきがある。</p>	4	<p>基礎力の定着を主眼に展開される授業を中心とする本校だが、入学時点での生徒の学力差が拡大しているのが昨今の現状である。いわゆる進学校から転入してくる学力の高い生徒にも興味を持って臨むことの出来る授業を、本校が主眼とする授業の中でどのように実現できるかを次年度の課題としたい。</p>	<p>・QRコードを用いてのメディア視聴のスムーズ実施は評価します。 ・アクティブラーニングの工夫と研究および実践の、教科・科目によるばらつきは改善を望みます。</p>
2	生活習慣の改善と定着	<p>現状では、本校の生徒指導や生活指導に対する満足度にコースごとの差が生じていることは否めない。登校回数のない一般コースの生徒の心にも響く指導方法の研究・実践に努めていきたい。また、不満に感じている層にも丁寧に向き合い、適切な対応を心がけていきたい。</p>	<p>・生活指導や生徒の悩み相談に対して、教師が統一した細やかな対応をとれるように心がける。 ・ホームルームをはじめ、様々な場面で倫理観の更なる向上に努め、生徒個々の自発的な変容を図る。 ・三者面談等を活用し、家庭と学校の連携を図る。</p>	<p>・個々の生徒および保護者が、学校生活を通じての生活習慣向上に満足しているか。 ・来校者および地域住民が本校生徒の生活態度に満足しているか。 ・教師と生徒の信頼関係がしっかりと出来ているか。</p>	<p>学校アンケートでは、本校入学後に生活習慣が改善されたと回答した割合が減少したにも関わらず、社会的マナーを身に付けている生徒が多いと回答した割合が8割を超えていた。これは、以前にも増して社会的常識を身に付けた生徒が多く入学してくる表れでもあると感じている。生徒指導に対しても公平且つ生徒に寄り添った指導をしていると感じている生徒保護者が増えている。</p>	4	<p>・生徒の悩み相談に対して、細やかな対応をとれるように引き続き心がけていきたい。 ・倫理観の向上は教育上の使命でもある。家庭と学校の連携を図ることはもちろんのこと、学校生活のあらゆる場面で啓蒙し考えさせる工夫に努めたい。</p>	<p>・社会的常識を身に付けている…という状態は測定が難しいと考えます。よって、生活習慣が改善されたと回答する数値が増加することを継続して目指すことが望まれます。 ・評価指標となっている“教師と生徒の信頼関係がしっかりとできていくか”、また、現状の欄にある“不満に感じている層にも丁寧に向き合い…”の検証も次年度以降検証をお願いしたいです。</p>
3	進路指導の充実	<p>授業の時間割等本校コースの性質上から、進路行事は特別コース生徒の登校する日の放課後に全コース生徒を対象に実施している。進路行事日程等について、一般コース生徒へのアナウンスが弱い等を反省し、スタディサプリの活用方法も含めたより丁寧なアナウンスに心掛けていきたい。</p>	<p>希望進路が多様な本校であるからこそ、一人一人にあったきめ細やかな進路相談と進路指導の実践を更に充実させたい。そのためにも、スタディサプリアオリジナル補講などのあり方や工夫についての研究・実践や進路情報の収集・分析をより積極的におこないたい。</p>	<p>・希望進路が実現出来た者が増えたか。 ・学年段階に応じた進路活動に生徒・保護者が満足しているか。 ・スタディサプリア利用者が、年度を通じて利用し続けることが出来たか。学習効果を実感しているか。</p>	<p>自己が目指す進路に果敢に挑み切り拓く生徒が増えてきたと実感している。その一方で、進路活動に消極的であったり、視野が狭いままの生徒も少なくない。進路行事や補講等については、一般コース生の参加も増えて来ている。</p>	4	<p>進路多様校である本校だが、大学のオープンキャンパスに参加させる課題を全員に課している。その意義を生徒保護者には是非理解して頂きたい。進路活動とは生き方を考えること。自己の視野や手の届く範囲だけでの選択で終わることなく、進路活動を通じて広い視野と自己を成長させる高校生活でありたい。そのための指導を今後も続ける。</p>	<p>・大学のオープンキャンパスに参加することを全員に課している事は大いに評価しています。 ・経過・達成状況の“進路活動に消極的であったり、視野が狭いままの生徒も少なくない。”ことに対しては、次年度以降も注力して取り組みをお願いします。</p>
4	校内環境の整備	<p>「知の種をまく図書室」と「知を教養に、教養を実りにする学舎」を目標に次年度以降も積極的な図書館運営と教育環境作りを努めて行く。生徒のより深い教養獲得と情操教育に取り組んで行く通信制高等学校としての本校の特色を、今後も守り育て続けたい。</p>	<p>図書室の蔵書数を増やすことと衛生管理の充実が更なる課題と思われる。今後も落ち着いた生活出来る環境整備に努めたい。特に衛生管理については、アルコール消毒液の昇降口設置や清掃の徹底等に努めたい。</p>	<p>・生徒や保護者が、本校の環境整備に理解を示し満足しているか。 ・図書室の蔵書数が計画的に増えているか。利用者が増えているか。本校から新型コロナウイルス感染者がでなかったか。などを評価指標としたい。</p>	<p>・衛生管理を徹底することができた。その結果として、学内での感染件数は0であった。 ・図書室の蔵書数も計画的に増加しており、利用者も増えている。最近の傾向として、小説にとどまらず新書など学術的要素の書籍の貸出件数も増え始めている。</p>	4	<p>図書室の充実、学校教育の根幹である。図書や新聞を通じて他者との会話が増え、仲間を増やし、視野が広がり、自身の社会での役割を見出していけるような環境の学校でありたいと願っている。「図書館の中にある学校」をテーマとして、一層の環境整備を図りたい。</p>	<p>・図書室の充実は大変評価しています。今後もよろしく願います。 ・資金的な課題は理解していますが、生徒の心のケアや進路につながるカウンセリング体制の充実への働きかけを強く希望しています。</p>